

## 11/1 高齢者社会活動の模範

おおしめなわ  
一の宮町大注連縄伝承会の活動が優良事例に



一の宮町大注連縄伝承会の皆さん

長寿社会における高齢者の社会活動の模範事例として、一の宮町大注連縄伝承会(小代勝久特別顧問)にエイジレス章が授与されました。

同伝承会は、30年ほど前から阿蘇神社などへ大注連縄を奉納しており、子どもたちへの技術伝承活動なども続けています。年齢にとらわれず自らの責任と能力で自由に生き生きとした生活をおくる「エイジレス・ライフ」を実践し、地域で社会参加活動を積極的に行っているとして、内閣府のホームページなどで活動事例が紹介されました。

## 10/3 阿蘇の韋駄天が優勝

よしゆき  
松本良幸さんが熊本県民体育祭で3連覇



男子60歳以上100m走で優勝した松本良幸さん

第74回熊本県民体育祭の陸上競技が9月15日に八代運動公園陸上競技場で開かれ、阿蘇郡市民体育祭で選抜された選手が市内から23競技178人出場。男子60歳以上100m走で優勝した松本良幸さん(内牧5区)が佐藤市長に大会結果を報告しました。

松本さんは、100mを13秒4という年齢を感じさせない好タイムを記録し、見事同大会で3回連続の優勝を飾りました。

松本さんは「短距離走はハードなスポーツ。ケガのないよう続けたい」と今後の意欲を語りました。

## 11/21 内牧小の思い出満載

内牧小学校記念誌「ほこ杉」を寄贈



復刻した「ほこ杉」を阿南教育長に手渡す杉原さん(右)

内牧小学校初代校長の孫に当たる杉原さんが52年前に発行された記念誌「ほこ杉」を復刻し教育委員会に寄贈しました。

同校は明治6年7月に内牧城跡三の丸旧学塾の地域(阿蘇体育館周辺)に創立され146年の歴史があります。今回復刻した「ほこ杉」は現在の内牧小学校校舎が建設された昭和42年に同校卒業生や歴代校長の寄稿の特集号としてPTAが冊子にまとめたものです。

寄贈された「ほこ杉」は内牧小学校や各小中学校、阿蘇一の宮図書館で読むことができます。

## 11/17 テコンドーで日韓交流

韓国総領事館主催 日韓テコンドー大会



試合には小学生から大人まで参加して交流を深めた

福岡の韓国総領事館主催による日韓テコンドー大会が一の宮中学校で開かれ、韓国の選手30人を含めた約150人が参加しました。

熊本地震の復興チャリティをきっかけに始まった本大会は毎年県内で開かれており、ことしで4回目。そのうち阿蘇では3回目の開催となります。

オープニングでは、秀岳館高校の和太鼓の演奏や世界ランキング1位の韓国人選手によるプムセ(型)が披露され、選手たちも試合を通して互いの交流を深めました。



11/23

## ストップ！不法投棄

### 阿蘇中部建設振興会が不法投棄ごみを撤去



山林でごみを集める建設振興会

阿蘇市と産山村の建設業の若手経営者で構成する阿蘇中部建設振興会（杉本修一会長）の19社・約25人が、波野の山林に不法に投棄されたごみや家電製品などの撤去作業を行いました。

同会は日頃の作業経験を活かし、危険な不法投棄の撤去を毎年ボランティアで実施しています。13回目となる今回は、総量で約190<sup>キ</sup>のごみを撤去しました。

不法投棄は法律により禁止されており、違反した場合は5年以下の懲役または1千万円以下の罰金が科せられます。

11/22

## 地域守る活動に感謝

### 元交通指導員の村上敬郎さんに感謝状



感謝状を受け取った村上さん（中央）

ことしの9月末に交通指導員を退職した村上敬郎さん（西町）へ交通事故防止に寄与したとして佐藤市長から感謝状が贈呈されました。

村上さんは、地域から交通事故を無くしたいという意志のもと平成19年に交通指導員に就任。12年2カ月間にわたり街頭指導やイベント等における交通指導に務めました。

交通指導員は、毎月3回の街頭指導をはじめ、交通安全運動期間中の活動やイベント等での交通指導に尽力しています。

11/26

## 噴火に備え連携確認

### 阿蘇火山防災訓練実施



阿蘇山上広場で人が運ぶ消防職員

阿蘇中岳の爆発的噴火を想定して、各関係機関同士が連携を確認する阿蘇火山防災訓練が阿蘇山上一帯で実施されました。

噴火警戒レベル2に伴い火口1<sup>キ</sup>圏内の立ち入りが禁止されている中、山上広場や草千里一帯で市や自衛隊、消防、警察、医師会、日赤など36団体、約230人が参加しました。

訓練では、噴火警戒レベル3への引き上げに伴う情報伝達や、噴火によって負傷した観光客の救助、応急処置や病院への搬送など、救出・救護の一連の流れを確認しました。

11/26

## 地域の魅力を再発見

### 阿蘇の地域づくりカフェ&交流会



交流会の様子

内牧商店街内のあーとちで、阿蘇市地域づくり協議会（菅乃保留会長）が主催する「阿蘇の地域づくりカフェ&交流会」が開かれ31人が参加しました。

この会では、地域づくり団体や個人が地域に埋もれている素材について情報交換するため、交流や講演会を行っています。

今回は、市内にある世間遺産「珍百景」を紹介。応募のあった19作品から四季折々でヘアスタイルが変わる「箱石峠の顔面岩」が優秀賞に選ばれました。今後また魅力を再発見するため世間遺産の募集などが行われます。

11/27

## 異文化学ぶ国際交流

中国の小学生と内牧の学童が交流



児童同士でゲームを楽しんだ

中国の青園せいえん小学校の児童26人が内牧小学校を訪れ、うちのまきスマイルキッズ学童と交流しました。

中国では、希望する児童を対象に教育旅行が実施されています。今回は、見学だけの旅行だけでなく、日本の文化を肌で感じたいと児童相互の交流を企画。青園小学校の児童たちによる踊りの披露やレクリエーションを通して交流を深めました。

海外から教育旅行で阿蘇を訪れる学校が多くある中、児童相互の交流を行う取り組みは今回が3例目となります。

11/26

## 道路と河川に彩りを

道路河川環境美化コンクール表彰式



最優秀賞「和みの花みち保存会」の大塚代表

令和元年度道路河川環境美化コンクールの表彰式が市役所で行われ、参加した20団体の中から、波野地区の『和みの花みち保存会』（大塚國勝代表）が最優秀賞に選ばれました。

同保存会は、滝水の市道1.6キロにわたり花を植栽し、年間を通し行き届いた管理などが評価され今回の受賞となりました。

●その他の受賞団体

【優秀賞】▽おごもり花園▽上西黒川区【佳作】▽内牧花原川を守る会▽竹原区▽狩尾3区及び老人会▽四ツ江川ホテルの会▽大道花クラブ▽手野名水会

11/27

## 人権意識の高揚目指す

2019 人権フェスティバル開催



桂七福さんが「気づけば高まる人権意識」について講演

2019阿蘇市人権フェスティバルが阿蘇体育館で開かれ、約310人が来場しました。

12月4日～10日の人権週間にあわせ、人権意識の高揚を図るために毎年開かれているもので、記念講演などのステージ発表のほか、絵画や標語の展示や障がい者就労支援施設などによる物品販売が行われました。

講演会では、落語家の桂七福さんが「言葉は傷を残すこともある。生涯守ってくださることもある。ずれができたなら恐れず、すぐに訂正してほしい」と呼びかけました。

11/27

## 熊本一の美女誕生

古田とわさんが2020 ミス・クマモトに決定



市役所を訪れたミス・クマモトの古田さん

ミス・クマモトの最終選考会が11月27日にくまもと森都心プラザで開かれ、ファイナリスト9人の中から古田とわさん（内牧4区）がミス・クマモトに選ばれました。

幼い頃からニュースキャスターを目指している古田さんは、人前で話すいい機会になるとミス・クマモト選考会に応募。最終審査では得意の書道でたたためた和傘を持ってウォーキングを披露し観客を魅了しました。今後は熊本のPRを行うほか「阿蘇のためにできることをしたい」と意気込みを語りました。